

専攻別検査の内容

1 ピアノ専攻志望者

次の(1)及び(2)について、それぞれ1曲を暗譜で演奏する。

(1) ピアノソナタ

W.A.モーツァルト 第1楽章又は終楽章 (但し KV.331 KV.545は除く)

(2) 練習曲 次の①、②の中から1曲を選択する。

① チェルニー 40 番

CZERNY Kunst der Fingerfertigkeit Op.299

② クラマー = ビューロー 60 の練習曲

CRAMER=BÜLOW 60 ausgewählte Etüden

2 声楽専攻志望者

次の(1)及び(2)について、それぞれ1曲を歌う。

(1) 練習曲 コールユーブンゲン 原書番号31番(a~e)

※31番のうち、当日指定された部分を、楽譜を見ながら無伴奏で歌う。

(2) 次の①、②、③から1曲を選択し、暗譜で歌う。

① ペチカ 北原白秋 作詞 山田耕筰 作曲

② 夏は来ぬ 佐佐木信綱 作詞 小山作之助 作曲

③ 花の街 江間章子 作詞 團伊玖磨 作曲

※ ①と②については5番のうち1番から3番まで歌う。

③については1番から3番まで全て歌う。

※ ③のピアノ伴奏は14小節目から演奏する。

※ ピアノ伴奏は学校側で行う。

3 弦楽器、管楽器、打楽器専攻志望者

次の(1)及び(2)について、それぞれを暗譜で演奏する。

(1) 任意の独奏曲1曲

(2) 音階又は基礎打ち

専攻楽器別音階等楽譜及び注意事項を参照すること。

※ 弦楽器、管楽器については、オーケストラで通常使用する楽器とする。打楽器については、小太鼓又はマリンバとする。

※ 演奏は無伴奏で行う。

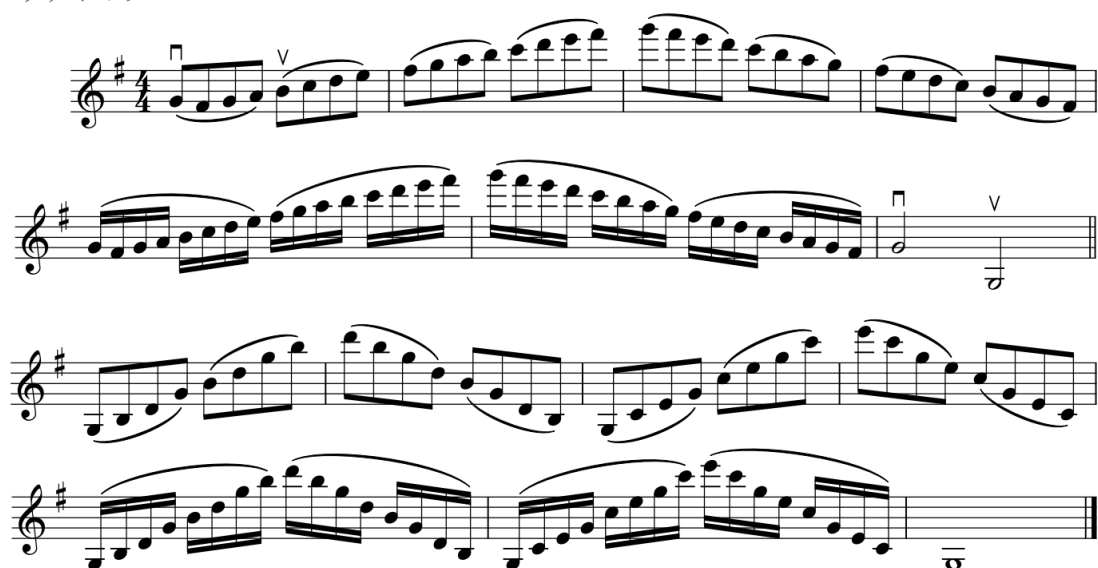
専攻楽器別音階等楽譜及び注意事項(弦・管・打)

Ⅰ 弦楽器

(1) 各楽器とも下記譜例の音階を演奏する。なお、ヴァイオリンは譜面通りで、チェロは2種類のボウイングで、コントラバスは2回目はデタッチェで演奏する。

(2) 調は、ヴァイオリンはト長調、チェロはニ長調、コントラバスについては変ロ長調とする。

ヴァイオリン



チェロ



コントラバス



2 木管楽器

- (1) 楽譜 A はすべての木管楽器についての基本音型とする。
(ただし楽器により、オクターブ関係は問わない)
- (2) a, b の音域、及びアーティキュレーション、テンポ等について、次のア～ウの条件により各自が任意で選択する。
ア 楽器の特性(音域等)
イ 調
ウ 技術の到達度
- (3) 譜面上のハ長調 ト長調 ヘ長調 とそれぞれの平行(並行)短調の中から当日指定する調を演奏する。ただし短音階は和声的短音階とする。

3 金管楽器

- (1) 楽譜 B はすべての金管楽器についての基本音型とする。
(ただし楽器により、オクターブ関係は問わない)
- (2) a, b, c の音域、及びアーティキュレーション、テンポ等について、次のア～ウの条件により各自が任意で選択する。
ア 楽器の特性(音域等)
イ 調
ウ 技術の到達度
- (3) 譜面上のハ長調 ト長調 ヘ長調 の中から当日指定する調を演奏する。

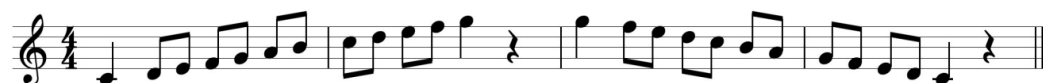
4 打楽器

- (1) マリンバ
ア 楽譜 C を基本音型とする。
イ アーティキュレーション、テンポ等については、技術の到達度により任意とする。
ウ ハ長調 ト長調 ヘ長調 とそれぞれの平行(並行)短調の中から当日指定する調を演奏する。ただし短音階は和声的短音階とする。
- (2) 小太鼓
ア 楽譜 D-①及び D-② のリズム打ちとする。
イ テンポ等については、技術の到達度により任意とする。

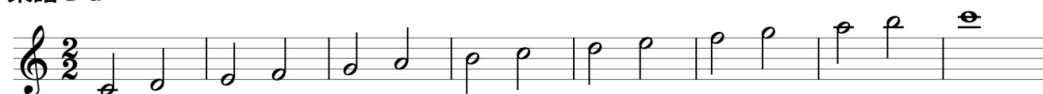
楽譜 A-a



楽譜 A-b



楽譜 B-a



楽譜 B-b



楽譜 B-c



楽譜 C



楽譜 D-①

4/4

R L

R L R L

R L R L R L

R L R L R L

R L R L R L

R L R L R L

R

楽譜 D-②

4/4

R

R L R L

R R L R R L